

第3回 理事会議事録（平成30年度）

日時：平成30年7月14日（土）

13：30～15：40

場所：鹿児島県看護研修会館1階会議室

I 議事に加わることができる理事

17名

II 出席理事及び定足数の確認

出席者 16名

会長 田畑千穂子
副会長 下仮屋道子
専務理事 原田ケイ子
常任理事 内司啓子
職能理事 西原洋子、園田良子、小玉博子、宇治野由美子
地区理事 川畑美賀、畑中勇二、谷川智子、花田博子、鮫島明子、
加治木ゆかり、榊愛香
准看護師理事 志水恵美子

欠席者 1名

副会長 中重敬子

III 監事

出席 財部マチ子

出席 古川康郎

IV 会長挨拶

今回、西日本で大豪雨災害が発生し、日本看護協会の第6報では、非常に大きな被害が報告されている。これ以上大きくならないようにと思いながらも、今後、情報を収集し、注視してまいりたい。

定款第40条に基づき、議決に加わることができる理事17名のうち16名の出席により、理事の過半数9名を満たしていることから、本会は有効に成立することを確認の後、会長が議長となり、理事会の進行及び議案の審議に入った。

V 協議事項

1 基本方針

1) 平成30年度鹿児島県看護協会通常総会を踏まえての事業展開等について

専務理事は、次のように説明した。

平成30年5月26日に開催された通常総会の最終出席者数は535名、委任状9,376名の合計9,911名で、前年度と比較すると450名弱の増となった。

協力員の皆様の協力のもと、解りやすい総会であったなどの声も聞かれた。

なお、議事運営等について、役員の選出方法が定款に記載してある方法と異なっているとの行政書士からの指摘で、総会では会長及び副会長候補のみ名称の選任であってその他は理事候補とすべきであるとのことから、今後の役員の選任に当たっては、事前の広報等及び総会の議決の表現を変更する必要等があるので、推薦委員会活動が始まる前の9月の理事会で方針を決定したい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

2) 県知事への要望書について

専務理事は、次のように説明した。

県の予算編成の前に、医療分野に係る予算確保等について要望したい。要望事項は、1 看護職員の確保・定着支援策について、2 看護の質向上について、3 在宅医療の推進について、4 特定行為に係る看護師の研修制度の推進について、を考えているが、必要な追加要望事項等があれば、7月末までに連絡して欲しい。それを受けて業務執行理事会で協議・検討し、8月には県へ要望書を提出、9月の理事会では皆さんにご報告したい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3) 平成31年度地域医療介護総合確保基金に係る事業の提案について

専務理事は、次のように説明した。

当基金の医療・介護分野について、県から提案があれば提出するよう通知があったが、3年計画で実施中の訪問看護供給体制推進事業に係る実態調査の結果を受けてから検討することとしている。なお、医療分野、介護分野について要望があれば連絡して欲しい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

2 事業推進に関する事項

1) 平成30年度看護政策推進のための組織強化事業の実施について

- ・評議員会の情報提供・意見交換会の内容及び出席者について
- ・アウトリーチ活動について
- ・入会案内媒体作成について

専務理事は、次のように説明した。

強化事業の一環として、評議員会開催予定のとおり業務執行理事が出席して、協会への要望や動きなどを説明する。早めのアウトリーチが本年度の入会につながる。

また、入会案内媒体の「入会のご案内」を広報委員会で作成中である。会員サービスとしての特典も記載してある。

職種ごとのコメントを記載するのでご協力をお願いしたい。アウトリーチに活用して欲しい。文字数については整理したい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

2) 4職能委員会及び災害看護検討委員会合同会議の開催準備について

看護師職能I理事は、次のように説明した。

「地域で起こりうる災害を、みんなで考えよう～地域での災害ネットワークづくり～」をテーマとして、ねらいは、①災害看護のありようを考える、②災害看護活動の基盤をなす能力がわかり、自己及び所属組織の課題を考える、③活動の場・地域に応じた看護支援活動が想定できる、

④多職種及び地域と協働・連携する災害支援活動が想定できる、である。

災害医療領域の講師を迎えて、8月25日に開催する。対象は看護管理者、保健師、看護師、助産師100名である。講師は、国際医療福祉大学大学院災害医療領域教授を予定し、講演の後、地域別グループワークを行うので、積極的な参加をお願いします。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3 管理的事項

1) 地区別法人会及び地区役員研修会の準備及び講師等について

専務理事は、次のように説明した。

平成30年度都道府県看護協会支部役員等研修会を11月2日鹿児島サンロイヤルホテルで開催する。開催県でもあることから各地区長は全員参加をお願いします。講師は、九州厚生局と鹿児島県の保健所長を予定している。

なお、法人会における議題等があったら8月末までに報告して欲しい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

2) 平成30年度役員・職能委員・特別委員会委員について

専務理事は、次のように説明した。

平成30年度役員・職能委員・特別委員会委員については、本人並びに所属の承諾をいただいたところである。当理事会で承認をお願いしたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3) 職員の退任について

会長は、次のように説明した。

総務部の正職員1名が退職したことから、後任に派遣職員を雇用した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

4 会員支援

1) ナースシップ及びキャリアナースの周知について

2) 鹿児島県看護協会ホームページ会員専用ページの周知について

1) 及び2) について、専務理事は、次のように説明した。

日本看護協会のホームページのキャリアナースへの登録の推進をお願いします。文献などの閲覧がリアルタイムでできるなどのメリットもある。マイページの活用もお願いしたい。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

3) 日本公衆衛生協会会長表彰候補者の推薦について

会長は、推薦予定の表彰候補者を紹介した。

このことについては、出席理事全員の賛成があり、承認された。

VI 報告事項

1 基本方針

1) 日本看護協会通常総会・全国職能交流会の開催について

2 事業推進に関する事項

1) 教育事業について

2) 看護職員就業相談事業について

- 3) 県総合防災訓練について
- 4) 看護の日記念行事について
- 5) 慢性期看護学会の準備状況について
 - ・準備委員会及び事務局の設置等について
- 6) 訪問看護理解連携促進事業について
- 7) 訪問看護実態調査委員会報告
- 8) 看護師の継続教育の実態調査の進捗状況について
- 9) その他
 - ・有償ボランティア登録について

3 管理的事項

- 1) 理事会・運営委員会議事録について


4 会員支援


5 その他（一部当日配布）

- (1) 日本看護協会理事会報告（書面報告）
- (2) 職能委員会報告（書面報告）
- (3) 地区報告（書面報告）
- (4) 委員会報告（書面報告）
- (5) 地区長情報交換会報告（口頭報告）
- (6) 他団体会議報告（書面報告）
- (7) 出張報告（県外）（書面報告）

以上をもって議案の審議等を終了したので15時40分、議長は閉会を宣言した。
 この議事録が正確であることを証するため、出席した会長及び監事が署名押印する。

平成30年7月14日

会長 田畑千穂子 

監事 財部マチ子 

監事 古川康郎 